

理 事 会 議 事 録

- 1 日 時 令和6年8月26日(月)
午後2時25分から午後2時45分まで
- 2 場 所 東京都渋谷区神宮前五丁目53番67号 コスモス青山4階
東京都住宅供給公社 特別会議室

3 出席者

| | | | |
|-----|------|----|-------|
| 理事長 | 中井敬三 | 理事 | 佐藤千佳 |
| 理事 | 福崎宏志 | 理事 | 青柳一彦 |
| 理事 | 齊藤広子 | 理事 | 大塚万紀子 |
| 監事 | 居原健一 | | |

理事の総数6名 出席理事の数5名(うちオンライン出席3名)

以上のおり、出席があり、理事会規程第5条第2項により理事会は成立した。
理事長中井敬三が議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

4 議 案

- 第1号議案 第48回東京都住宅供給公社債券の発行及び資金使途について
第2号議案 東京都住宅供給公社職員就業規則の一部改正について
第3号議案 東京都住宅供給公社職員給与規程の一部改正について
第4号議案 東京都住宅供給公社職員の退職金に関する規程の一部改正について

5 議事内容

(1) 第1号議案について

第1号議案について、総務部担当部長が議案の説明を行った。

続いて、議長が意見等を募ったところ、以下のとおり発言があった。

<齊藤理事>

- ・資金使途について説明のあった JKK 住宅について、子育て、防災など、多様な視点から多面的にいろいろ配慮していて大変素晴らしい。JKK シニア住宅も今の時代、超高齢社会に大変適している。
- ・民間事業者との連携も非常に魅力的だと思う。実際に、民間の見守りサービスでは、入居者が個別に鍵を民間事業者に預けるのか。それとも大家である公社が鍵を保管し、いざという時に鍵を開けるのか。鍵の取扱いはなかなか難しい問題と考えている。

<大塚理事>

- ・団塊世代の高齢化、団塊ジュニアの今後の高齢化に伴って、子育て支援に追加して、シニアへの支援が注目されていくと思っている。シニア向け住宅へのニーズの高まりも容易に予想される場所である。
- ・子育て世代は住みかえスパンが短い、シニアの方々は中長期で考えることが必要である。対象人数も多く、かなりの規模で、そのニーズが高まっていくと考えている。
- ・JKK としても早目に取り組むことが求められる。カーメスト武蔵小金井は大変注目している。

<住宅再生推進担当部長>

- ・見守りサービスは、公社が民間の警備会社と契約を締結している。鍵の取扱いについては、居住者からこの警備会社に対して住戸ごとに玄関鍵を 1 本預けていただき、緊急時にはこの鍵で警備会社が入室する想定である。
- ・小金井本町住宅の建替えにあたっては、そのコンセプトを「小金井あんしん住まいプロジェクト」として、団地敷地内に定員 108 名の特別養護老人ホーム等を誘致し、すでに運営を開始している。
- ・建替え後のカーメスト武蔵小金井は、1 棟で 244 戸の JKK 住宅を建設しているが、このうちの 40 戸がシニア住宅となっており、建物に併設して小金井市の「地域包括支援センター」を開設予定である。
- ・このシニア住宅では、ハード面では、通常の JKK 住宅に備えるバリアフリー機能に加えて、玄関戸は引き戸を採用、洗面台やキッチンの流し台についても座りながらご利用可能な仕様としている。

- ・建物は10月に竣工する予定であり、完成後には現地にて物件案内とソフト面の詳しい説明をさせていただく。

続いて、議長が意見等を募ったところ、意見等が無かったため、議長は、第1号議案について、その可否を諮ったところ、異議無く、これを議決した。

(2) 第2号議案、第3号議案及び第4号議案について

議長は、第2号議案から第4号議案について、相互に関連することから、一括して審議を行うことを確認し、総務部長が各議案の説明を行った。

続いて、議長が意見等を募ったところ、意見等が無かったため、議長は、第2号議案から第4号議案について、その可否を諮ったところ、異議無く、これを議決した。